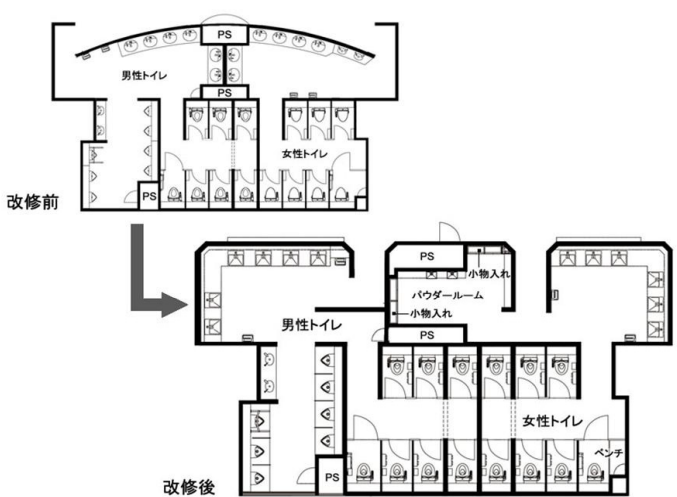


外観



六本木ヒルズ森タワーは、六本木ヒルズのシンボルとなる、地上54F建て、高さ238mの超高層オフィスビル。国内最大級となる1フロア約4500㎡の無柱空間を実現している。

トイレ図面

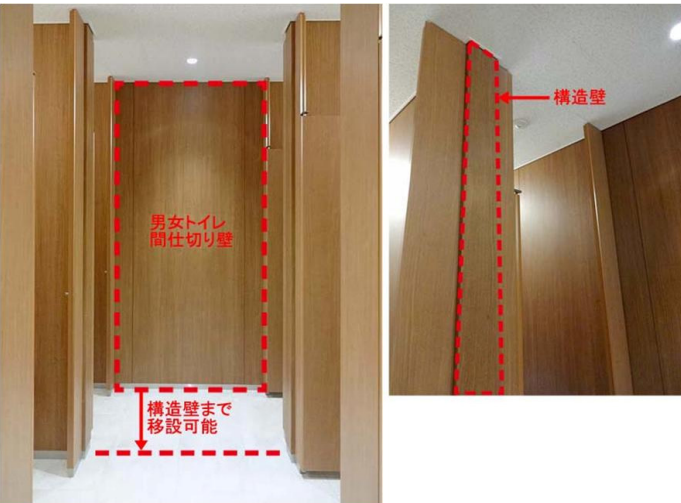


男性トイレ 洗面コーナー



女性トイレ同様、洗面器は日本の伝統工芸である『折り紙』をモチーフにした、ハイクオリティ洗面器を採用。身だしなみチェックのために全身鏡を設置している。

男性トイレ 大便器コーナー



将来的にも、テナントの男女比率にあわせて大便器ブースの数を調整できるように、大便器ブースの壁の一部を構造壁にし、男女トイレの間仕切り壁の変更できるようにしている。

女性トイレ 洗面コーナー



洗面器は『折り紙』をモチーフにした、ハイクオリティ洗面器を採用。カウンター下には、書類やバッグなどを置くことができる収納スペースを設けた。水栓金具は湯水切り替え機能付きの自動水栓を設置。

女性トイレ パウダールーム



上質な素材感を感じさせる空間に、要望が多かったパウダーコーナーを新設。手洗器はデザイン性を重視してベッセル式手洗器を採用。壁面のモザイクタイルは、天然の貝殻で作られている。

男性トイレ 小便器コーナー



節水性と床の清掃性に優れた、マイクロ波センサー付きの壁掛式小便器を採用。プライバシーに配慮して、小便器の間に仕切りを設けている。

男性トイレ 洗面コーナー



小便器前の洗面コーナーは、手洗い行為に特化した化粧鏡は設置していない。カウンターや小便器コーナーの棚の手前を立ち上げ、傘などがすべり落ちないように細やかな配慮が施されている。

女性トイレ パウダールーム



パウダーコーナーの横には、女性オフィスワーカーの声を反映し、約190人分の化粧ポーチなどを収納できるキャビネットを設置している。

女性トイレ 大便器ブース



大便器は、床の清掃性に優れた壁掛式便器を採用し、2度流しを防止する音姫(擬音装置)機能を搭載したウォシュレットを設置。着替えなどができるように、ベンチを備えた大便器ブースを1ヶ所用意している。

建築概要

名 称	六本木ヒルズ森タワー
所 在 地	東京都港区六本木6丁目10番1号
施 主	森ビル株式会社
設 計	株式会社イリア
竣 工 年 月	2014年10月

水まわりの特長

<改修の経緯>
2003年に開業した超高層オフィスビル『六本木ヒルズ森タワー』は、集合住宅・ホテル・文化施設・商業施設などで構成される、六本木ヒルズの中核施設。8F～48Fがオフィスフロアで、今回テナント入れ替えを実施した1フロアにおいてトイレの改修を行った。改修に当たっては、森ビルの女性社員によりワークショップを実施。オフィスの付加価値を高め、女性が働きやすい職場環境をつくるために、女性のトイレにおける行動を洗い出し、トイレのプランニングに反映した。

<トイレの特長>
トイレは用を足す場所だけでなく、コミュニケーションを図る場と位置づけ、さまざまな改善が図られている。女性トイレにおける洗面コーナーの混雑を緩和するために、新たに独立したパウダールームを設置。さらに、パウダールームには、約190人分の化粧ポーチなどが収納できるキャビネットも備わっている。また、トイレで少しの休憩や着替えができるように、女性トイレには、ベンチを備えた大便器ブースを1ヶ所設置するなど、特に女性オフィスワーカーが快適に過ごすことができるトイレ空間を実現している。